

6 食中毒

(1) 食中毒の発生状況

ア 概況

平成29年に、海外を原因とする事件を除く広島県内で発生した食中毒は26件、有症者数は515人であり、前年と比較すると、事件数は2件減少し、有症者数は166人増加した。なお、集団食中毒は15件、有症者数は485人であった。

過去3年間の事件数等の推移は次のとおりである。

年	広島県					全国				
	事件数	有症者数	死者数	罹患率	1事件当たりの有症者数	事件数	有症者数	死者数	罹患率	1事件当たりの有症者数
29	26 (15)	515 (485)	0	18.2	19.8 (32.3)	1,014	16,464	3	13.0	16.2
28	28 (11)	349 (322)	0	12.3	12.5 (29.3)	1,140	20,253	14	16.0	17.8
27	69 (15)	952 (880)	0	33.7	13.8 (58.7)	1,202	22,718	6	17.9	18.9

(注) 罹患率は、人口10万人に対するものである。

(注) ()内は集団食中毒(有症者6人以上)の発生状況である。

イ 病因物質別発生状況

広島県内の病因物質別の発生状況は、細菌によるものが13件(50.0%)、146人(28.3%)であり、ノロウイルスによるものが7件(27.0%)、332人(64.5%)、動物性自然毒によるものが2件(7.7%)、3人(0.6%)、植物性自然毒によるものが1件(3.8%)、8人(1.6%)、その他が2件(7.7%)であった。

病因物質	食中毒		集団(再掲)		散発(再掲)	
	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)
総数	26 (100)	515 (100)	15 (100)	485 (100)	11 (100)	30 (100)
細菌総数	13 (50.0)	146 (28.3)	7 (46.7)	128 (26.4)	6 (54.5)	18 (60.0)
カンピロバクター	8 (30.8)	48 (9.3)	3 (20.0)	31 (6.4)	5 (45.5)	17 (56.7)
セレウス菌						
サルモネラ属菌	2 (7.7)	49 (9.5)	1 (6.7)	48 (9.9)	1 (9.0)	1 (3.3)
黄色ブドウ球菌	3 (11.5)	49 (9.5)	3 (20.0)	49 (10.1)		
腸管出血性大腸菌 以外の病原大腸菌						
ウエルシュ菌						
ノロウイルス	7 (27.0)	332 (64.5)	6 (40.0)	327 (67.5)	1 (9.1)	5 (16.7)
動物性自然毒	2 (7.7)	3 (0.6)			2 (18.2)	3 (10.0)
植物性自然毒	1 (3.8)	8 (1.6)	1 (6.7)	8 (1.6)		
その他	2 (7.7)	23 (4.5)	1 (6.7)	22 (4.5)	1 (9.1)	1 (3.3)
不明	1 (3.8)	3 (0.6)			1 (9.1)	3 (10.0)

ウ 原因施設別発生状況

(ア) 原因施設別の発生状況は、原因施設が判明したものが23件(88.5%)、509人(98.8%)、原因施設が不明のものが3件(11.5%)、6人(1.2%)であった。

原因施設 判明の有無	食中毒		集団(再掲)		散発(再掲)	
	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)
総計	26 (100)	515 (100)	15 (100)	485 (100)	11 (100)	30 (100)
原因施設が判明したもの	23 (88.5)	509 (98.8)	15 (100)	485 (100)	8 (72.7)	24 (80.0)
原因施設が不明のもの	3 (11.5)	6 (1.2)			3 (27.3)	6 (20.0)

(イ) 原因施設が判明したものの件数の多い順は、飲食店(一般、仕出し、旅館)が16件(69.6%)、425人(83.5%)、家庭が4件(17.4%)、21人(4.1%)、学校が2件(8.7%)、28人(5.5%)、事業所が1件(4.3%)、35人(6.9%)であった。

原因施設	食中毒		集団(再掲)		散発(再掲)		
	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	
原因施設が判明したもの	23 (100)	509 (100)	15 (100)	485 (100)	8 (100)	24 (100)	
飲食店	一般	14 (60.9)	197 (38.7)	9 (60.0)	177 (36.5)	5 (62.5)	20 (83.3)
	仕出し						
	旅館	2 (8.7)	228 (44.8)	2 (13.3)	228 (47.0)		
家庭	4 (17.4)	21 (4.1)	1 (6.7)	17 (3.5)	3 (37.5)	4 (16.7)	
事業所	1 (4.3)	35 (6.9)	1 (6.7)	35 (7.2)			
学校	2 (8.7)	28 (5.5)	2 (13.3)	28 (5.8)			
その他							

エ 原因食品別発生状況

(ア) 原因食品の判明したものが22件(84.6%)、489人(95.0%)、不明のものが4件(15.4%)、26人(5.0%)であった。

原因食品 判明の有無	食 中 毒		集 団 (再 掲)		散 発 (再 掲)	
	事 件 数 (割 合)	有 症 者 数 (割 合)	事 件 数 (割 合)	有 症 者 数 (割 合)	事 件 数 (割 合)	有 症 者 数 (割 合)
総 計	26 (100)	515 (100)	15 (100)	485 (100)	11 (100)	30 (100)
原因食品が判明したもの	22 (84.6)	489 (95.0)	14 (93.3)	465 (95.9)	8 (72.7)	24 (80.0)
不 明 の も の	4 (15.4)	26 (5.0)	1 (6.7)	20 (4.1)	3 (27.3)	6 (20.0)

(イ) 原因食品が判明したものの件数は、食事特定が14件(63.8%)、387人(79.1%)、フグが2件(9.1%)、3人(0.6%)、魚介類(その他)が3件(13.7%)、39人(8.0%)、菓子類が2件(9.1%)、52人(10.7%)、野菜類及びその加工品が1件(4.5%)、8人(1.6%)の順であった。

原因食品の種別		食 中 毒		集 団 食 中 毒 (再 掲)		散 発 食 中 毒 (再 掲)	
		事 件 数 (割 合)	有 症 者 数 (割 合)	事 件 数 (割 合)	有 症 者 数 (割 合)	事 件 数 (割 合)	有 症 者 数 (割 合)
原因食品が判明したもの		22 (100)	489 (100)	14 (100)	465 (100)	8 (100)	24 (100)
食 事 特 定		14 (63.6)	387 (79.1)	9 (64.3)	367 (79.0)	5 (62.5)	20 (83.3)
魚 介 類	フ グ	2 (9.1)	3 (0.6)			2 (25.0)	3 (12.5)
	そ の 他	3 (13.7)	39 (8.0)	2 (14.3)	38 (8.1)	1 (12.5)	1 (4.2)
菓 子 類		2 (9.1)	52 (10.7)	2 (14.3)	52 (11.2)		
野菜類及びその加工品		1 (4.5)	8 (1.6)	1 (7.1)	8 (1.7)		

オ 月別の発生状況

広島県内の事件数では、件数の多い順に12月が5件、8月が4件となっている。有症者数では6月が212人、10月が85人、4月が51人の順であった。

発 生 月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
食 中 毒	事 件 数	2	1		3	1	1	3	4	3	3		5	26
	有 症 者 数	51	2		15	11	212	45	19	33	85		42	515
	死 者 数													
集 団 食 中 毒 （ 再 掲 ）	事 件 数	2			1	1	1	2	1	2	3		2	15
	有 症 者 数	51			10	11	212	44	12	30	85		30	485
	死 者 数													
散 発 食 中 毒 （ 再 掲 ）	事 件 数		1		2			1	3	1			3	11
	有 症 者 数		2		5			1	7	3			12	30
	死 者 数													

カ 主な食中毒事件（有症者30人以上）

No	発生日	発生場所	有症者数	死者数	原因食品	病因物質	原因施設
1	1月5日	福山市	35	0	当該施設で製造した食品	ノロウイルス	菓子製造業
2	6月2日	広島市	212	0	6月2～4日に提供された ビュッフェ料理	ノロウイルス	飲食店
3	7月3日	広島市	36	0	7月2日に提供された 結婚披露宴料理	ノロウイルス	飲食店
4	10月15日	世羅町	48	0	10月11日に提供した 昼食（推定）	サルモネラ属菌	飲食店

平成29年食中毒発生状況

1 広島県（広島市、呉市、福山市を含む）内で発生した集団食中毒

事件番号	発生日	発生場所	喫食者数	有症者数	死者数	原因食品	病因物質	原因施設	喫食場所	潜伏時間	症状	事件概要	発生要因
1	1月5日	福山市	79	35	0	当該施設で製造した食品	ノロウイルス	菓子製造所	事業場・その他	38.0	嘔吐、下痢、吐き気	製造された調理パンを喫食した者から有症者が発生	何らかの原因により、ノロウイルスが調理場内に持ち込まれ、手指を介し調理器具や食材を二次的に汚染したこと、食材の加熱が不十分であったこと、施設・調理器具の消毒が不十分であったこと、当日の製造量が通常に比べ多く、衛生管理が不十分であったこと等が推察される。
2	1月22日	広島市	32	16	0	カキおろし和え	ノロウイルス	旅館	旅館	33.5	下痢、嘔吐、腹痛等	提供された料理を喫食した者から有症者が発生	「かきおろし和え」からノロウイルスを検出したこと、調理従事者の検便からはノロウイルスは検出されなかったことから、ノロウイルスに汚染されたカキを加熱不十分で提供したことが原因と判断した。
3	4月10日	福山市	11	10	0	4月8日に当該施設が提供した食事	カンピロバクター	飲食店	飲食店	63.7	下痢、腹痛、発熱	提供された料理を喫食した者から有症者が発生	カンピロバクターに汚染された鶏肉等を生で喫食したこと、また、これら食材によって汚染された調理器具類や調理従事者の手指を介して二次的に汚染し、それを当該グループが喫食したこと等が考えられる。
4	5月29日	広島市	52	11	0	5月27日に提供された食事	カンピロバクター	飲食店	飲食店	74.5	下痢、発熱、腹痛等	提供された料理を喫食した者から有症者が発生	患者の聞き取り調査の際に鶏肉料理が半生であったとの証言があったことから、加熱不十分の鶏肉を喫食したことが原因の可能性が考えられた。
5	6月2日	広島市	502	212	0	6月2～4日に提供されたビュッフェ料理	ノロウイルス	旅館	旅館	35.5	下痢、発熱、嘔吐等	提供された料理を喫食した者から有症者が発生	ノロウイルスに感染した従事者や、汚染された従業員トイレを利用した従事者が、手指消毒不足によってノロウイルスを調理場内に持ち込み、食品を取り扱ったことによる汚染が考えられる。
6	7月3日	広島市	58	36	0	7月2日に提供された結婚披露宴料理	ノロウイルス	飲食店	飲食店	36.0	下痢、嘔吐、発熱等	提供された料理を喫食した者から有症者が発生	ノロウイルスに感染した従事者が、手指消毒不足によってノロウイルスを調理場内に持ち込み、食品を取り扱ったことによる汚染が考えられる。
7	7月14日	安芸高田市	17	8	0	茹でたジャガイモ	ソラニン	学校	学校	1.3	気分不良、嘔吐等	茹でたジャガイモを喫食した者から有症者が発生	自家栽培したジャガイモの選別が不十分であったこと（小さく未熟なものも喫食していた）、緑化部分の除去が不十分であったことが原因と考えられた。
8	8月21日	呉市	52	12	0	8月21日の夕食	黄色ブドウ球菌	飲食店	飲食店	不明	嘔吐、下痢	提供された料理を喫食した者から有症者が発生	手洗いや手袋の交換が疎かになっていたため、手指を介し調理器具や食材を汚染したことが原因の可能性が考えられたこと、衛生管理が不十分であったこと等が原因と考えられる。
9	9月3日	広島市	21	10	0	9月2日に提供された食事	カンピロバクター	飲食店	飲食店	39.0	下痢、腹痛、発熱等	提供された料理を喫食した者から有症者が発生	半生の鶏肉料理を患者全員が喫食していたことから、加熱不十分な鶏肉を喫食したことが原因の可能性が高いと考えられる。また、半生の鶏肉とサラダや生野菜を扱う器具の使い分けができていなかったことから、二次汚染の可能性も考えられる。
10	9月3日	三原市	39	20	0	不明	黄色ブドウ球菌	その他	学校	5.0	嘔気、嘔吐、下痢等	提供された料理を喫食した者から有症者が発生	共通食はドリンク類と自炊調理のみであり、炊き込みご飯の残品から黄色ブドウ球菌が検出されたが、残品の保管方法が適切ではなく、二次汚染も疑われたため、原因食品は自炊調理品と推定された。
11	10月8日	竹原市	24	17	0	おはぎ	黄色ブドウ球菌	家庭	事業場・保育所		嘔吐、下痢	提供されたおはぎを喫食した者から有症者が発生	家庭内調理を行った差し入れのおはぎを有症者全員が喫食していたこと、おはぎの残品から黄色ブドウ球菌が検出されたことから、同食品を原因食品として推定した。
12	10月12日	世羅町	60	48	0	10月11日に提供した昼食（推定）	サルモネラ属菌	飲食店	飲食店		下痢、腹痛、発熱	提供された料理を喫食した者から有症者が発生	温度管理の不備によりサルモネラ属菌が増殖していたこと、当日の調理中の加熱不足による菌の残存、また手洗い及び調理器具の洗浄消毒不足等による二次汚染が考えられた。
13	10月15日	広島市	33	20	0	10月14日に提供された食事	ノロウイルス	飲食店	飲食店	36.0	嘔吐、発熱、腹痛等	提供された料理を喫食した者から有症者が発生	ノロウイルスに感染した調理従事者が発症後に従事し、手指消毒不十分で食品を取り扱ったことによる汚染が考えられる。
14	12月15日	広島市	31	22	0	12月15日及び16日に提供されたヒラメの刺身	クドア・セフテンブソクタータ	飲食店	飲食店	7.0	下痢、嘔吐、発熱等	提供された料理を喫食した者から有症者が発生	患者の共通食が当該施設の食事のみであり全員がヒラメの刺身を喫食していたこと、提供された食事の原材料中で、クドア・セフテンブソクタータが寄生するのはヒラメのみであることから、原因はヒラメの刺身であると判断した。
15	12月16日	広島市	16	8	0	12月15日に提供された食事	ノロウイルス	飲食店	飲食店	37.0	下痢、嘔吐、発熱等	提供された料理を喫食した者から有症者が発生	ノロウイルスの二次汚染を受けた調理従事者が、手指洗浄不足のまま食品を取り扱ったことによる汚染の可能性が考えられる。

2 平成29年特異な食中毒発生状況

事件番号	発生日	発生場所	喫食者数	有症者数	死者数	原因食品	病因物質	原因施設	喫食場所	潜伏時間	症状	事件概要	発生要因
	2月11日	広島市	2	2	0	フグ（種類不明）の煮物	フグ毒（テトロドトキシン）（推定）	家庭	家庭	6.5	手足や舌のしびれ、心らつき、歩行困難、言語障害等	知人からもらったフグを家庭で調理して喫食し、発症	フグ（種類不明）の身と肝臓を喫食した。フグの種類、可食部位および内臓の鑑別等の知識不足が原因と考えられる。
	8月1日	尾道市	1	1	0	フグ（種類等不明）	フグ毒（テトロドトキシン）（推定）	家庭	家庭	1.0	手足のしびれ等	家族が前日に釣ったフグを患者自らが調理して喫食し、発症	フグ（種類不明）の身と肝臓と思われるものを喫食した。フグの種類、可食部位および内臓の鑑別等の知識不足が原因と考えられる。

平成29年集団食中毒（県内分）

	事件数(件)	有症者数(名)	死者数(名)
県立	4	93	0
広島市	8	335	0
呉市	1	12	0
福山市	2	45	0
合計	15	485	0

(原因施設所在地別)

平成29年散发食中毒（県内分）

	事件数(件)	有症者数(名)	死者数(名)
県立	3	5	0
広島市	4	14	0
呉市	2	3	0
福山市	2	8	0
合計	11	30	0

別表2

年次別食中毒発生状況

(広島県)

(単位:件,人,%)

(全国)

(単位:件,人,%)

年次	件数	患者数	死者数	り患率	1事件当 たり患者 数
32	32	370	14	19.0	11.6
33	49	1,107	15	50.7	22.6
34	45	624	11	28.6	13.9
35	47	856	11	39.3	18.2
36	42	1,412	12	64.8	33.6
37	48	2,010	14	90.7	41.9
38	42	787	14	35.8	18.7
39	46	1,356	9	60.8	29.5
40	33	684	14	20.5	20.7
41	55	1,799	11	75.8	32.7
42	37	878	15	37.5	23.7
43	51	768	14	32.4	15.1
44	34	1,274	6	52.9	37.5
45	23	615	4	25.2	26.7
46	35	1,428	6	57.4	40.8
47	22	1,054	0	41.7	47.9
48	23	1,005	1	39.1	43.7
49	35	766	2	29.5	21.9
50	43	922	3	35.1	21.4
51	24	251	4	9.5	10.5
52	37	569	4	21.3	15.4
53	49	1,519	6	56.3	31.0
54	34	744	3	27.9	21.9
55	26	512	2	18.7	19.7
56	21	522	1	19.1	24.9
57	27	923	1	33.4	34.2
58	21	1,074	0	38.7	51.1
59	17	272	0	9.8	16.0
60	25	1,047	0	37.1	41.9
61	20	598	0	21.7	29.9
62	16	789	0	27.8	49.3
63	16	1,003	0	35.3	62.7
元	15	823	1	29.0	54.9
2	22	1,355	0	47.5	61.6
3	29	3,084	0	107.8	106.3
4	24	843	0	29.5	35.1
5	13	824	2	28.8	63.4
6	16	524	0	18.0	32.8
7	18	506	0	17.6	28.1
8	25	792	2	27.5	31.7
9	342	1,677	0	58.2	4.9
10	1,088	2,815	1	97.7	2.6
11	1,149	2,531	1	87.7	2.2
12	782	1,567	0	54.4	2.0
13	770	1,530	0	53.1	2.0
14	719	1,889	0	65.8	2.6
15	561	2,071	0	71.9	3.7
16	578	1,214	0	42.2	2.1
17	541	1,203	0	41.8	2.2
18	294	773	0	26.9	2.6
19	259	1,489	1	51.8	5.7
20	271	1,590	0	55.3	5.9
21	155	411	0	14.3	2.7
22	158	538	0	18.8	3.4
23	116	380	0	13.3	3.3
24	110	2,698	0	94.7	24.5
25	71	269	0	9.5	3.8
26	95	802	0	28.3	8.4
27	69	952	0	33.7	13.8
28	28	349	0	12.3	12.5
29	26	515	0	18.2	19.8

年次	件数	患者数	死者数	り患率	1事件当 たり患者 数
32	1,716	24,164	300	26.5	14.1
33	1,911	31,056	332	33.8	16.3
34	2,468	39,899	318	42.9	16.2
35	1,877	37,253	218	39.9	19.8
36	2,631	53,362	238	56.6	20.3
37	1,916	38,166	167	40.1	19.9
38	1,970	38,344	164	39.9	19.5
39	2,037	41,638	146	42.8	20.4
40	1,208	29,018	139	29.5	24.0
41	1,400	31,204	117	31.5	22.3
42	1,565	39,760	120	39.6	25.4
43	1,093	33,041	94	32.6	30.2
44	1,360	49,396	82	48.1	36.3
45	1,133	32,516	63	31.3	28.7
46	1,118	30,731	46	29.3	27.5
47	1,405	37,216	37	35.0	26.5
48	1,201	36,832	39	33.9	30.7
49	1,202	25,986	48	23.6	21.6
50	1,783	45,277	52	40.4	25.4
51	831	20,933	26	18.5	25.2
52	1,276	33,188	30	29.1	26.0
53	1,271	30,547	40	26.5	24.0
54	1,168	30,161	22	26.0	25.8
55	1,001	32,737	23	28.0	32.7
56	1,108	30,027	13	25.5	27.1
57	923	35,535	12	30.1	38.5
58	1,095	37,023	13	31.2	33.8
59	1,047	33,084	21	31.2	31.6
60	1,177	44,102	12	36.4	37.5
61	899	35,556	7	29.2	39.6
62	840	25,368	5	20.7	30.2
63	724	41,439	8	33.9	57.2
元	927	36,479	10	29.6	39.4
2	926	37,561	5	30.4	40.6
3	782	39,745	6	32.0	50.8
4	557	29,790	6	23.9	53.5
5	550	25,702	10	20.6	46.7
6	830	35,735	2	28.0	43.1
7	699	26,325	5	21.1	37.7
8	1,217	46,327	15	36.8	38.1
9	1,960	39,989	8	31.7	20.4
10	3,010	46,179	9	36.6	15.3
11	2,697	35,214	7	27.8	13.1
12	2,247	43,307	4	34.2	19.3
13	1,928	25,862	4	20.4	13.4
14	1,850	27,629	18	21.7	14.9
15	1,584	29,341	6	23.0	18.5
16	1,666	28,175	5	22.1	16.9
17	1,545	27,019	7	21.3	17.5
18	1,491	39,026	6	30.5	26.2
19	1,289	33,477	7	26.2	26.0
20	1,369	24,303	4	19.0	17.8
21	1,048	20,249	0	15.8	19.3
22	1,254	25,972	0	20.3	20.7
23	1,062	21,616	11	16.9	20.4
24	1,100	26,699	11	20.9	24.3
25	931	20,802	1	16.3	22.3
26	976	19,355	2	15.2	19.8
27	1,202	22,718	6	17.9	18.9
28	1,140	20,253	14	16.0	17.8
29	1,014	16,464	3	13.0	16.2

(注) り患率は人口10万人に対するものである。

別表3

病 因 物 質 別 食 中 毒 発 生 状 況

(単位: 件, 人)

病因物質	年次	29			28			27			26			25		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総	数	26	515	0	28	349	0	69	952	0	95	802	0	71	269	0
細菌	計	13	146		16	101		42	54		74	193		55	78	
	小腸炎	8	48		14	26		42	54		70	134		53	76	
	腸原性	2	49								2	16		2	2	
	ブドウ球菌															
	肺炎球菌	3	49		1	66					2	43				
	アシシロモ															
	アシシロモ				1	9										
	アシシロモ															
	アシシロモ															
	アシシロモ															
化学物質								1	21							
化学物質								13	852		13	584		7	148	
自然毒								7	15		6	8		5	8	
自然毒								4	8		4	4		4	7	
自然毒								1	12		2	4		1	1	
その他								6	10		2	17		2	9	
不明								1	3		0	0		2	26	

84

別表4

原 因 施 設 別 食 中 毒 発 生 状 況

(単位: 件, 人)

施設	年次	29			28			27			26			25		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総	数	26	515	0	28	349	0	69	952	0	95	802	0	71	269	0
飲食店	飲食店	14	197		9	83		4	204		23	347		11	88	
	家庭用	1	35		1	20					1	15				
製造	製造	4	21		4	6		8	17		6	8		3	5	
	出張							2	86							
旅行	旅行	2	228					3	270		2	40		1	61	
	学校							3	222		2	325		3	45	
販売	販売							1	21							
	学校	2	28					1	31					1	16	
その他	その他													1	1	
	不明							1	62							
不明																
不明								1	12		1	15				
不明								9	9		45	53		51	53	

別表5

原因食品別食中毒発生状況

(単位:件,人)

原因食品	年次	29			28			27			26			25		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総数		26	515	0	0	0	0	69	952	0	95	802	0	71	269	0
複合調理食品					13	319										
魚介類	ふぐ	2	3		4	8		6	11		4	4		4	7	
	貝類	1	16													
	その他の	2	23					5	27		2	17		2	9	
魚介類加工品	魚肉ねり製品															
	その他の															
穀類及びその加工品																
野菜類及びその加工品	きのこ類				1	12		1	4					1	1	
	豆類															
	その他の	1	8								2	4				
菓子類		2	52					2	86							
肉類及びその加工品											1	15				
卵類及びその加工品																
乳類及びその加工品																
その他の		14	387					12	773		22	684		13	199	
不明		4	26		10	10		43	51		64	78		5	53	

85

別表6

摂取場所別食中毒発生状況

(単位:件,人)

施設	年次	29			28			27			26			25		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総数		26	515	0	28	349	0	69	952		95	802	0	71	269	0
家庭		3	4		4	6		9	74		6	8		4	6	
飲食店		14	197		9	83		4	204		21	304		11	88	
事業所		2	52		1	20		4	243		1	15		1	10	
旅館		2	228					3	270		2	40		1	61	
学校		2	28					2	58		2	329		1	16	
製造所																
病院								1	21							
その他の					2	74		1	29		2	39		2	35	
不明		3	6		12	166		45	53		61	67		5	53	

別表7

月 別 食 中 毒 発 生 状 況

(単位：件，人)

月	年次	29			28			27			26			25		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総	数	26	515	0	28	349	0	69	952	0	95	802	0	71	269	0
1		2	51		3	83		6	16		5	351		5	74	
2		1	2		0	0		9	216		6	126		2	4	
3		0	0		2	4		5	87		8	19		4	12	
4		3	15		2	13		8	11		8	33		8	32	
5		1	11		2	17		10	34		13	43		7	7	
6		1	212		5	8		5	6		12	43		3	3	
7		3	45		2	10		3	3		12	21		6	21	
8		4	19		0	0		6	27		10	16		13	16	
9		3	33		3	10		1	4		3	4		4	4	
10		3	85		5	100		7	9		4	18		4	4	
11		0	0		1	11		6	365		9	53		9	13	
12		5	42		3	93		3	174		5	75		6	79	

(2) 食中毒警報発令事業

- ア 事業実施期間 毎年6月1日から10月31日まで
- イ 平成29年度の発令回数及び日数 1回(93日)
- ウ 食中毒警報発令状況(平成6年~平成29年)

年次 (事件数)	区分	実施期間(月) (発生件数)	発令回数及び発令期間			警報発令期間		警報解除期間		
			号	月日~月日	日数	発生件数	日数	発生件数(a) a/(a+b)×100	日数	発生件数(b) b/(a+b)×100
6 (16)		6-10 (5)	1	6.6~10.18	134	4	134	4 (80.0)	19	1 (20.0)
7 (18)		6-10 (7)	1	6.27~9.20	85	6	85	6 (85.7)	68	1 (14.3)
8 (25)		6-10 (16)	1	6.17~10.28	133	13	133	13 (81.2)	20	3 (18.8)
9 (33)		6-10 (22)	1	6.19~10.15	118	21	118	21 (95.5)	35	1 (4.5)
(309)		(217)				174		174 (80.2)		43 (19.8)
10 (44)		6-10 (24)	1	6.19~10.26	129	21	129	21 (87.5)	24	3 (12.5)
(1,044)		(647)				594		594 (91.8)		53 (8.2)
11 (34)		6-10 (20)	1	6.17~10.31	136	20	137	20 (100)	16	0 (0)
(1,115)		(644)				603		603 (93.6)		41 (6.4)
12 (31)		6-10 (20)	1	7.3~10.11	100	17	100	17 (85.0)	53	1 (15.0)
(751)		(461)				336		336 (72.9)		25 (27.1)
13 (32)		6-10 (8)	1	6.11~6.19	8	6	108	6 (75.0)	45	1 (25.0)
(738)		(427)	2	7.2~10.10	100	100	325	102 (76.1)		102 (23.9)
14 (29)		6-10 (16)	1	6.3~6.24	21	13	126	13 (81.2)	27	3 (18.8)
(690)		(444)	2	7.5~10.18	105	384	126	384 (86.5)		60 (13.5)
15 (19)		6-10 (13)	1	6.9~10.6	119	13	119	13 (76.9)	34	1 (23.1)
(541)		(290)				253		253 (87.2)		37 (12.8)
16 (18)		6-10 (8)	1	6.4~10.4	122	7	122	7 (87.5)	31	1 (12.5)
(560)		(315)				261		261 (82.9)		54 (17.1)
17 (20)		6-10 (10)	1	6.9~10.11	124	7	124	7 (70.0)	29	3 (30.0)
(521)		(310)				266		266 (85.8)		44 (14.2)
18 (17)		6-10 (11)	1	6.16~10.17	123	10	123	10 (90.9)	30	1 (9.1)
(277)		(149)				127		127 (85.2)		22 (14.8)
19 (22)		6-10 (8)	1	6.28~10.24	118	8	118	8 (100)	35	0 (0)
(237)		(125)				100		100 (80.0)		25 (20.0)
20 (24)		6-10 (10)	1	7.2~10.6	96	5	96	5 (50.0)	57	5 (50.0)
(249)		(152)				102		102 (66.2)		52 (33.8)
21 (12)		6-10 (2)	1	6.15~10.5	112	1	112	1 (50.0)	41	1 (50.0)
(143)		(62)				50		50 (80.6)		12 (19.4)
22 (28)		6-10 (11)	1	6.11~10.6	117	7	117	7 (63.6)	36	4 (36.4)
(130)		(58)				44		44 (75.9)		14 (24.1)
23 (20)		6-10 (9)	1	6.24~10.5	103	5	103	5 (55.6)	50	4 (44.4)
(96)		(50)				32		32 (64.0)		18 (36.0)
24 (24)		6-10 (5)	1	6.25~10.9	106	4	106	4 (80.0)	47	1 (20.0)
(86)		(41)				28		28 (68.3)		13 (31.7)
25 (12)		6-10 (1)	1	6.7~10.15	130	1	130	1 (100.0)	23	0 (0.0)
(59)		(29)				27		27 (93.1)		2 (6.9)
26 (22)		6-10 (5)	1	6.2~9.24	114	4	114	4 (80.0)	39	1 (20.0)
(73)		(36)				31		31 (86.1)		5 (13.9)
27 (15)		6-10 (1)	1	7.13~10.6	85	1	85	1 (100.0)	68	0 (0.0)
(54)		(21)				8		8 (38.1)		13 (61.9)
28 (11)		6-10 (5)	1	7.4~10.2.5	113	5	113	5 (100.0)	40	0 (0.0)
(17)		(10)				6		6 (60.0)		4 (40.0)
29 (15)		6-10 (9)	1	6.21~9.2.2	93	5	93	5 (55.6)	60	4 (44.4)
(11)		(5)				5		5 (100.0)		0 (0.0)

(注) 発生件数は、食中毒事件数を示す。
 発令日数に、解除日は含まず。
 平成9年以降の上段は集団、下段は散発事例を示す。